



学校だより



鎌小マスコットキャラクター
くすのつき m.m

第五号

校長 杉村 幸恵

縦割り班の旗が完成しました

今年、縦割り班での活動(異年齢集団活動)が様々な展開されています。子供たちが触れ合い、関わり合いながら活動の範囲を広げ、共に学ぶ縦割り活動は、コロナ禍においては、制限せざるを得ないことが多い活動でした。

本校では、児童が八つの班(縦割り班)に分かれて活動しています。各班(一班〜八班)は、それぞれの班の数字をうまく取り入れて班名を考えています。班名と名前に込めた意味は、次の通りです。

- 一班：イルカグループ 群れのイルカのように、一致団結するグループに
- 二班：カニ大王グループ カニのように、いつも元気で笑顔あふれるグループに
- 三班：みつばグループ みつばのイメージは、希望・信頼。そんなグループに
- 四班：あざらしグループ あざらしのように、仲間を思いやって力を合わせて頑張るグループに
- 五班：わんこグループ 「わん」はOoOo。みんなで心を一つにできるグループに
- 六班：ロケットグループ ロケットのように、まっすぐに、ぶれないグループに
- 七班：ながれぼしグループ キラキラとした個性をもって頑張るグループに
- 八班：やまねこキンググループ やまねこのように、素早い行動と自分に責任をもった行動をするグループに



この班は、日常的な掃除(縦割り掃除)をはじめ、ハッピータイムでの異年齢遊び等を行います。班全員で遊ぶこともありませんが、掃除は、もう少し小さなグループで活動しています。各班は、三つの小グループから構成されており、縦割り掃除は小グループ毎に分担場所があります。どの小グループにも六年生のグループ長がいます。

掃除は月ごとに担当場所が変わります。ですから、月初めには、下のよう



担当の掃除場所に集まって、六年生から場所ごとの掃除の仕方や道具の使い方などを教えてもらいます。この班は、班長と三人の小グループ長の計四人が前に出て班全体に説明をしています

下は、各班の旗を作っている様子です。班員全員で一斉に作業をするのも、実に四年ぶりのことです。班長やグループ長を中心に、作業の内容や場の混雑具合を考えながら、下級生を導いていきます。なかなか思う

ように進まない場面もあったようですが、最上級生を中心に張りまりました。縦割り班では、五年生や四年生も大きな力になります。二年生や三年生だって、一年生からすればお兄さんやお姉さんです。時にはお手本にだってなっています。

縦割り活動では、年長者の姿から、みんなのために働くことに関心をもったり、班やグループの一員として、協力することや助け合うことを学んだり、異なる意見や考えに折り合いをつけたり、解決方法を考えることができます。

これらの力は、多様な他者と共にこれからの時代を生き抜いていく子供たちにとっては、とても大切な「主体的な力」であり「豊かな心」であります。本校が縦割り活動を大切に考え、活動を通して子供たちを育てていきたいと考えているのは、このためです。

昨日は、旗の披露会をしました。

ここに至るまでには、縦割り班での旗作

りの時間だけでなく、業前や業間の時間を使って仕上げの作業を行ったり、発表の準備を行ったりしてくれた六年生の力があります。よく頑張っています。

子供たちにとって最も身近な社会(学校)では、他にも様々なグループがあります。登校班もその一つです。班長だけでなく、班

